



2025年(令和7年)

5月24日 土曜日

発行所: 十勝毎日新聞社
〒080-8688 帯広市東1条南8丁目
編集 ☎0155-22-2121 広告 ☎0155-23-2323
販売 ☎0155-24-2222 事業 ☎0155-22-7555
購読 ☎0120-25-3999



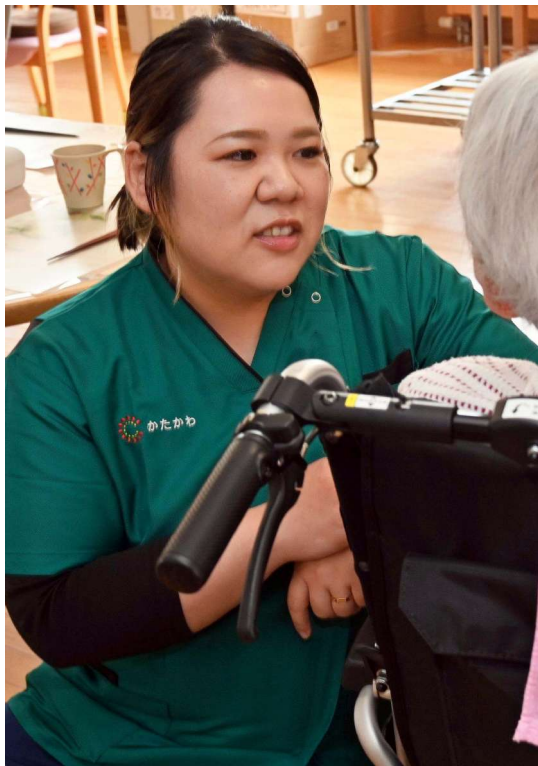
195

アニカホスピス(東京)が運営する住宅型有料老人ホーム「アニカ足寄」(足寄町)で、メディカルマネジャーとして働く。末期がんや難病を抱える人を対象に、地域の終末期医療を担う施設だ。

1987年日高管内えりも町生まれ。浦河町の看護専門学校を卒業し2009年、帯広厚生病院に看護師として勤務。白血病や悪性リンパ腫などを扱う血液内科に所属し、一人の最期に関わることで緩和やターミナル(終末期)のケアに興味を持ったと話す。

13年、長男の出産を契機に退職し、夫が畑作を営む本別町に転居。再就職先を探す中で足寄の在宅療養支援診療所

終末期患者に寄り添う



家族に寄り添い、終末期医療に携わる方川さん

企業ファイル

足寄で住宅型有料老人ホーム

- 本 社 東京都中央区日本橋室町
- 代表者 鐘ヶ江紗里社長
- 創業年/資本金 2024年3月25日/1000万円
- 売上高 非公表
- 職員数 15人
- 事業内容 足寄町内で住宅型有料老人ホーム「アニカ足寄」を運営。24時間常駐の看護師と介護士による手厚いケアで、家族と大切な時間を過ごせる施設づくりを目指す。7月には音更での開業を予定する。

アニカホスピス 方川亜華峰さん

「ホームケアクリニックあり」と言い、その10年後、72歳で勤務し、最近家族の要望にも刺激になり、良い効果が生まれていると話している。

37歳。(佐藤匡聡)

目指す職員を体現

鐘ヶ江紗里社長の話 熱意ある姿勢、プライベートの充実、アニカが目指す職員「自分らしく生きる」を体現してくれている。

「ホームケアクリニックあり」と言い、その10年後、72歳で勤務し、最近家族の要望にも刺激になり、良い効果が生まれていると話している。

37歳。(佐藤匡聡)

目指す職員を体現

鐘ヶ江紗里社長の話 熱意ある姿勢、プライベートの充実、アニカが目指す職員「自分らしく生きる」を体現してくれている。